

## 花泉地域統合小学校整備事業基本構想等の策定に係るアンケート集計

## 問 1 ①学校づくりの基本目標（学校像などのキャッチフレーズ）

**分類：子供の成長** キーワード：思いやり、豊かな心、共に成長、明るく、たくましく、元気  
自らが、文武両立

- ・ 仲間意識と思いやりのある学校
- ・ 思いやりの心を育てる学校
- ・ 豊かな心を育む学校
- ・ 共生、調和思いやりのある学校
- ・ 仲間と助けあいながら共に成長する学校
- ・ 優しさあふれる学校
- ・ 勇気あふれる学校
- ・ 歌声あふれる学校
- ・ 共に学び活気のある学校
- ・ 共に学び合う学校（学習内容の定着）
- ・ 元気に学べる学校
- ・ 共に高め合い、響き合う学校
- ・ 歴史と自然を愛し、心豊かでたくましい人に育む学校
- ・ 未来を創造する人間の育成ができる学校
- ・ 約束を守り、感謝の気持ちを持ち、ありがとうと素直に言える子供のいる学校
- ・ ねばり強く考える子ども
- ・ 進んで正しいことをする子ども
- ・ 目当てを持って体を鍛える子ども
- ・ 自分から進んで行動する子供
- ・ 情緒豊かな人を思いやれる人
- ・ 明るく元気
- ・ 心身ともにたくましく
- ・ 学力向上、体力向上（市内1番 移住者増？）
- ・ 学業とスポーツ活動の両立

**分類：安全・安心** キーワード：生きる力、明るく元気、健康、防災、防犯、環境

- ・ 安全安心、心豊かにすごせる学校
- ・ 安全で安心な生きる力が育める学校。
- ・ 安全で明るく元気な子を育む学校
- ・ 安全で安心な学校 3  
健康と安全、防災・防犯施設の充実した学校  
安全指導計画 防犯マップ 地域の避難所機能を備える
- ・ 児童が安心して登校できる学校（環境設備・人間関係）

**分類：地域連携** キーワード：地域と歩む、地域愛、開かれた学校、地域も学べる、地域で子育て  
花泉の風土、まちづくり

- ・ 地域との関係を大事にする学校
- ・ 地域を愛し、伝統が守れる学校
- ・ 地域とゆるやかで絶え間なく歩む学校
- ・ ひらかれた学校 3
- ・ 学校、P T A、地域、情報の共有
- ・ 地域一体
- ・ 明るく、楽しく、生き生きと生活できる地域と歩む学校

- ・子供、教師、保護者、地域が一体となり、児童が主役の学校
- ・家庭、地域、学校が連携を取り子どもを育てる。
- ・地域の象徴となるような地域密着型の学校。
- ・保護者、地域住民も学べる学校
- ・地域と歩む学校
  - コミュニティ・スクール
  - 学校運営に地域住民・保護者等が参画する学校
  - 地域へ学校施設が開放できる学校 生涯学習施設として
- ・地域の支援、地域も責任。
- ・地域とのつながりを密にし、町全体で子育てのできる環境にある小学校。
- ・地域に活力を与え、地域に笑顔を届けられる学校
- ・花泉の風土を大切にし、自ら学び、生きる力を育む学校
  - 自然環境を大切にする学校
  - 地域とつながる学校
  - 学校づくりとまちづくりをリンク

分類：スローガン **キーワード：智の泉湧く、この瞬間、花、泉、よりどころ、おらほ、つなぐ**

- ・駆け抜ける今しかないこの瞬間を
- ・友情の花が咲き 智の泉が湧く
- ・例えば花のように○○○ 雲のように○○○ 泉のように○○○ など花泉にちなんだ学校づくり
- ・花のように明るく 泉のように清らかに
- ・地域の人、もの、心のよりどころ
- ・6つの智（地）で築くおらほの学校
- ・日本一の○○学校
- ・これまでと今、そしてこれからをつなぐ学校

分類：連携 **キーワード：小中一貫、小中一体、小中連携**

- ・統合小学校の建設は、現在の中学校周辺に建設して小中が一体となった場所を選定すべきと考えます。
- ・未来を見通し小中一貫教育制度（義務教育学校）
- ・小学校、中学校の連携の強化、義務教育9年間を通じた系統性・連続性に配慮した学校

分類：学校への期待 **キーワード：信頼、地域特性、未来を拓く、いじめのない、伝統、まなび  
心の通じ合い、仲良く**

- ・子供たちが家に帰りたくない学校
- ・信頼される学校
- ・明るい未来を拓く学校
- ・いじめのない学校
- ・児童、保護者、教職員の近い関係が出来、お互いの心を通じ合せ学べる学校。
- ・知育、徳育、体育をとり入れたもの。（副題としても）
- ・時代の新しい所と地元のいい所を組み合わせた学校になればと思います。
- ・小学生は（特に今の子）言葉づかいや人との関わりがまだ未熟で大きい学校になると人も多くなり仲良くできればと思う。
- ・全町の統合であるので、各地域の特性、伝統、各学校の今までの流れを踏襲しての推進
- ・子供達が将来地元に着するように「地域の大切なものを守る」「地域の良さ」を教える
- ・学校は「まなぶ」ところ・・・これが基本

- ・校訓とはちがうと思いますが、今後、校訓を作る際は、子供目線だともっと分かりやすくした物があると意識できる様な気がします。
- ・環境、郷土、地域、自由
- ・温故知新（伝統芸能等を尊重し継承しつつ、ITを活用した新しい学びの形を実践する）
- ・統合を見据えた学校間又は地域間の交流事業（誰が主役かを明確にする）
- ・統合する各学校の特徴は何らかのかたちで引き継げれば。

問1 ②学習環境（児童の成長を促進する環境）ーソフトウェア的なもの

**分類：学力** キーワード：**学習意欲、学習定着、国際感覚**

- ・学習意欲が起きる教育
- ・学習訓練の定着
- ・英語指導を図り能力の基礎の育成
- ・外国人教師の登用
- ・国際感覚豊かな子どもを育成する環境

**分類：健全育成** キーワード：**心豊か、思いやり、礼儀、笑顔、自ら学ぶ、健康、創造力**

- ・心豊かでたくましい子供の育成
- ・心豊かな子供の育成
- ・心を豊かにする育成（福祉学習や協働参画）
- ・心を育てる、自己肯定感の持てる子供育成
- ・人の痛みを感じる事が出来る優しさ、人間の強さを学ぶ場所
- ・やさしい心→相手を思う、助け合う、心の強さ
- ・自分を大切に、他人を思いやる徳育を篤くする
- ・すなおで心豊かな子供の育成
- ・美しい心、思いやりの心をもっている子どもの育成
- ・いじめのない快適な学校生活 3
- ・深く考える子どもの育成
- ・「自考自伸」の精心が育める学校生活の出来る環境
- ・失敗さえも活かしやり抜く子どもの育成
- ・児童の根本からの成長を促進する環境
- ・礼儀正しく、仲よく、助けあえる、心豊かな子どもの育成
- ・笑顔あふれる児童の育成 ～感じる、考える、実行する～
- ・自ら学びたくましく心豊かに生きる力を育てる教育
- ・様々な「力」を育める教育（適正な判断力、豊かな想像力など）
- ・感性を磨き表現力を高め創造力を育む
- ・じょうぶな体→
- ・自学心の育成

**分類：体験学習** キーワード：**自然、歴史、農作業、体験、観察、遊び、ふれあい**

- ・学ぶ力→←職場体験 ☆色々な仕事の話しをきくきかいを作る。☆調べる力
- ・自然とふれあえる体験が出きる場を作る一畑や花壇
- ・豊かで恵まれている自然とのふれあい
- ・地域の歴史に触れる学習（花泉・金沢・老松・・・などの各地域の風土を継続して学習し共有する機会を持てる）
- ・動植物や天体など観察が出来、遊びを通じて体を鍛えられるような場所の確保
- ・多くの公共施設等に近く、子供達が色々な体験学習（社会体験等）を身近に出来る学校。

- ・農場、林地を持ち、通年で作業、収穫等を経験する
- ・昆虫や水生生物の観察ができる林や池など野外活動ゾーン

**分類：指導体制**    **キーワード：きめ細やか、特別支援、連携と交流、情報化対応**

- ・500人を超える子どもたちになると教師の目が届きにくくなると思う。それに対応できるような仕組みを。(教員増、学級定数減とか)
- ・きめ細やかな学習指導の確立
- ・学習しやすい、指導しやすい学校 教材教具がすっきり整理できる場所
- ・特別支援教育に配慮した学校  
インクルーシブを目指した学校教育 2  
特別支援学級 (知的障害・自閉症情緒障害・病弱虚弱障害・肢体不自由障害) 「LD通級学級」「通級ことばの教室」いつでも受け入れることができる施設
- ・電子メディアの環境整備「情報活用能力」  
電子黒板、タブレット等活用できる教室環境
- ・少人数指導に対応した教室のあり方 オープンスペース  
わかる授業を実現できる指導の形態・学習形態が工夫できる
- ・様々な障害を持った子供が増えることも予測し、特別支援教室等の拡充。
- ・1人1人に目が行き届くような学校
- ・人(教員)の育成(環境よりも人作り)
- ・同学年(学級)の連携と異学年交流
- ・どの子も十分な支援が得られる

**分類：連携**    **キーワード：地域との連携、家庭連携、ふるさと学習、小中連携、小中一貫  
幼保小中連携**

- ・小学校と老人施設、幼児施設との連携を活発に図る
  - ・地域住民の協力を得て、地域の良さを教育に取り入れる。
  - ・ふるさとに学ぶ学校
  - ・親があまりでしゃばらないでほしい。
  - ・情操教育 (家庭と連携)
  - ・小中連携 4
  - ・小学校と中学校が交流できる環境
  - ・少子化の傾向が改善される見込みのない将来に対応するため小中一貫とすることが望ましい
  - ・幼保小中が系統性、計画性を持ちながら教育を推進する環境
  - ・小中一貫での学校づくりにはならないのか？
- ←→・中学校施設と距離を置く

**分類：学びの支援**    **キーワード：安心、居心地、学びの場、多様性、遊ぶ、快適、競争、連携**

- ・子供が安心してすごせる環境
- ・居心地の良い環境や場所
- ・「まなび」を支援する環境  
先生、他人(友人、周りの人など)から学ぶ  
地域に学ぶ  
ひとりで静かに学ぶ
- ・明るく快適な学校生活
- ・思い切り遊べ、学べる学校
- ・多様なニーズに対応でき、将来的な選択肢が広がる環境
- ・学びに集中でき、学ぶ喜びを得られる場
- ・図書の管理も花泉図書館のようにパソコンでできるとよい
- ・快適かつ集中できる環境

- ・連携と連働
- ・競争意識もある程度必要

### 問1 ③施設環境（健やかに育つ施設環境）－ハードウェア的なもの

#### 分類：施設の立地 キーワード：見晴らし、町の中心部、施設隣接、中学校付近、行き交う場

- ・小学校・中学校・図書館が隣接し教育環境が良くなると考えます。
- ・町の中心部が見渡せる小高い丘に立地する
- ・学校は高台にあり、見晴らしがよい場所がよいですね。
- ・統合する学校施設である地理、地勢に配慮した場所
- ・小学校・中学校・図書館が隣接することにより子供を送迎する家族にとっても便利になると考えます。
- ・位置を花泉中学校の近くにし、教育施設の相互利用などを通し成長への教育効果を期待したい。
- ・小学校だけが単独であるのではなく、公園、幼稚園・保育園、市民センター、介護施設、図書館、スーパーなど多くの住民が日常的に行き交う場に接して（近くに）学校を建ててほしいと考えています。

#### 分類：建築素材 キーワード：木材利用、木造校舎、地場産材

- ・床はフローリング（無垢材）。
- ・椅子、机は木製（杉、ヒノキ）にする。（東成瀬村の小学校が参考になる。）
- ・木のぬくもりを感じ、心安まる木造校舎 2
- ・出来るだけ木材を多く使ってほしい
- ・木の香りのする学校
- ・地場産材を利用した（間伐材）強化材を利用し、木製建築校舎
- ・木をふんだんに取り入れた校舎
- ・県産木材などを活用したあたたかい雰囲気
- ・平屋の木造校舎 2

#### 分類：快適空間 キーワード：自然採光、冷暖房、省エネ、エコ、自然循環、自然エネルギー

- ・教室にはエアコンを設置する 2
- ・自然採光を十分取り入れ、落ち着いてできる学習環境
- ・快適な学校生活  
教室の保健的な環境条件（採光、照明、換気、室温）教室環境の諸条件を整えておくことは、学習・就学条件につながる
- ・陽光がたっぷり降り注ぐ廊下やホール（集会場）
- ・体育館に暖房 or ジェットヒーター
- ・自然循環を十分取り入れた冷暖房の設置
- ・暖房、空調などは最新かつエコを意識したもので
- ・全教室冷房
- ・自然エネルギー活用で省エネ対応
- ・地産地消

#### 分類：学習施設機能 キーワード：非オープン、施設充実（図書館、音楽室、体育館、プール）、校庭芝生、多目的ホール、林、ランテールーム、少子化対応

- ・教室の造りはオープン不可
- ・図書館は学びのセンター（核）：場所的にも
- ・図書館の整備重要。その上で、いつでも、どこでも気軽に図書に親しめる環境

- (例、各教室やオープンスペースなど)
- ・学校図書館—パソコン室と分離。蔵書増。
  - ・図書館の充実 (足を運びたくなる空間) 3
  - ・音楽室の整備 (防音壁、大型鏡)
  - ・校庭の芝生化 2
  - ・校庭に外便所を設置する
  - ・体育館⇒暖房機能 更衣室 観覧席 シャワー室
  - ・校庭⇒校庭 200Mトラックで運動会ができ全PTA会員が参観できる広さの確保
  - ・プール⇒温水シャワー、紫外線対策の屋根、25M8コース、低学年用補助プール  
複数学年が同時に利用できる広さ
  - ・屋根付プールの建設
  - ・オープンスペースを十分な広さで確保し、学校生活において互いに交流しあえる場所。
  - ・人数が多くなるので、低学年・中学年・高学年用の学団スペースがあるといいです。
  - ・自由に使えるフリースペース
  - ・ゆとりスペース
  - ・体育館のほかにもホール (集会のできる場所)
  - ・給食は、ランチルームで食べる。学びの場と食の場を分ける。
  - ・少子化に対応した空教室を分離できるような設計
  - ・異年令学年の活動を積極的に取入れることが可能な施設

分類：管理施設機能

キーワード：情報化対応、長持ち、働きやすい、児童待合室、保健室充実、相談室、駐車場、学校開放、洋式トイレ、エレベーター

- ・情報化対応 (全館LAN、体育館には大型スクリーンと高輝度プロジェクター等) 7
- ・タブレット端末などを配置し、児童が地域の歴史などに気軽に触れられる学習設備。
- ・職員室と各教室を結ぶネットワーク (取次ぎに走らなくてもよい環境。)
- ・職員にとっても働きやすい空間 (職員室、更衣室、印刷室、湯沸かし室など動線にむだがない。)
- ・職員室の配置については、来校者や子供達に常に目配りが出来る場所への確保を望む。
- ・職員室から、来校者や遊具で遊ぶ児童の姿が見えるように。
- ・警備、暖房の集中管理
- ・児童待機待合室の確保 (SB利用者・保護者送迎時)
- ・更衣室を確保する。
- ・保健室機能の充実 養護教諭二人体制  
基本的な生活習慣・心身の健康問題の早期発見・命と心を大切にするための支援・指導等の機能を備えた保健室  
相談機能・居場所機能・健康診断・健康観察・保健指導
- ・明るい保健室で職員室、校長室、1年教室の近く
- ・教育相談室の設置  
いじめ・不登校・虐待等、児童・保護者が教育相談できる相談の秘密が守られる機能、スクールカウンセラーの配置
- ・学校行事等で保護者が車で学校に来るとき駐車するスペースが十分にある敷地 2
- ・洋式トイレの設置 2
- ・エレベーターの設置・・・重量物の運搬、又は、けが等で階段使用困難時に使用 2
- ・校庭に林 (木立) をつくる。
- ・30年、40年後まで通用する校舎
- ・様々な行事 (地域行事含) に有効的な環境
- ・スポーツ大会や地域交流に活用できる開放的な施設整備
- ・学校開放に対応した社会体育機能を備えた体育施設

- ・これからの生涯学習、情報教育に対応できる環境

分類：学校環境

キーワード：**親自然、地域性、地域交流、シンボル、機能性、モダン、運動促進  
適度な植栽、ユニバーサル、ノーマライゼーション、バリアフリー**

- ・身近かに自然があって日常的に親しめる環境。(例えば、小さな丘、季節を感じる木々の植樹や遊具の設置。木はどんぐり、くりの実のなるものや四季を感じるもみじやかえでなど)
- ・自然とふれあえる場所、調和している施設
- ・四季が感じられる樹木に囲まれた環境
- ・自然に調和した環境
- ・地域に根ざした、特長のある環境
- ・地域の皆が憩える場
- ・花壇、植栽は適度に 2
- ・子どもたちが自慢できるような、校舎であってほしい。花泉のシンボルとなるようなもの。
- ・デザイン重視の建物より。機能性を重視した建物が望ましい。(現在の花中においては、障害のある生徒の移動がスムーズに出来ないこともある)
- ・デザインにこだわりすぎない施設
- ・モダンな学校
- ・透明感のある施設
- ・緩やかなスロープ等を活用した動線の長い立体的な施設  
(生活の中で運動を促す工夫)
- ・ユニバーサルデザイン 4
- ・ノーマライゼーション
- ・バリアフリー 5
- ・町内一校となるといろいろな子どもが入学してくると思われるので、それに対応できるように。

分類：安全・安心

キーワード：**安全安心、災害対策、防犯、防災、見守り、セキュリティ強化**

- ・安全な施設。5
- ・安心感のある施設。2
- ・災害に強い学校 3
- ・金流川からの洪水対策 (水の上がらない場所の確保)
- ・安全、防犯、耐震に配慮した施設 3
- ・安全対策は十分に (防犯、災害対策含め)
- ・防災、減災を考慮した施設
- ・地盤沈下、土砂崩落等の危険回避する
- ・自然災害に対して安全第一の施設
- ・健やかに育ち安全や防犯をなげなく教員が見守れる施設環境
- ・防犯対策 (インターホン、校内電話)
- ・死角のない学校設計
- ・必要な所には、防犯カメラあれば安心、校門付近など 2
- ・セキュリティを強化した安心安全な施設。
- ・不審者の侵入防止対策

問 1 ④地域との連携 (地域との交流など)

分類：特色ある活動

キーワード：**文化の継承、地域行事、地域の誇り、子供主体**

- ・地域での伝統行事の残る活動

- ・伝統芸能、文化の継承発展 3
- ・伝承活動等は、開校時すべてを各学校が持ち込むのではなく、地域の財産として残すことが出来ないか。
- ・子供主体で進めてほしい。
- ・今まで小学校ごとに取り組んでいる地域との行事をどうするか。
- ・地域に誇りを持てる文化教育

**分類：スポーツ少年団** キーワード：**組織化、ルール作り、活性化**

- ・スポーツ少年団の活動の活性化
- ・小学校でのスポーツ少年団活動が過熱しすぎていることから、活動時間を短くして、家庭時間を大切にしたり家庭学習をきちんと行ったりする時間を確保したい。
- ・学校も統合する事により、スポーツ少年団 色々な、種目が増えると考えます。
- ・クラブ活動、スポーツ少年団活動をしないう日を設定する。
- ・スポーツ少年団組織との連携
- ・既存のスポーツ少年団の総意を得て、連絡協議会組織を発足させる。

**分類：子供の居場所** キーワード：**継続設置、学校隣接、既存クラブの運営懸念、旧学区ごと開設**

- ・親の就業形態に対応した児童クラブや子供教室の開催（毎日、夜間開催も含め）2
- ・子ども教室は今迄どおりにしていくのか、その時の送迎は。
- ・放課後児童クラブや子供教室の設置、充実（併設、隣接） 11
- ・放課後子どもクラブは、新設される小学校の近くにあれば理想的と思うが、今開設されてある2つのクラブが希望する人数を受け入れ可能か。新たに開設する場合、民営・公営にしても、子供の奪い合いなど運営に支障が起きない工夫が必要。
- ・子供教室は、各地域での活動の仕方や、開催日数も異なっていると思うので、各地区間での連携・調整・工夫が必要。
- ・旧学区ごとの放課後子ども教室の継続
- ・公的学童保育の実現

**分類：PTA活動** キーワード：**地域協働体との連携、大人教育、活動場所の設置、組織再編**

- ・PTAや地域と一体となった活動 4
- ・地域協働体との連携を密に図り、地区PTA活動を活発にして、全体PTA活動を盛り上げる。
- ・PTAも大事だが、子供より大人の方がめんどうな方が多い。
- ・PTA活動できる部屋を校舎に設置する
- ・PTAについては現在ある各単Pを支部組織化するなどの工夫が必要ではないか。

**分類：地域連携** キーワード：**伝統芸能、地域文化、地域と結び合い、開かれた学校、退職教職員、人材マップ、高齢者、学校サポート、見守り、災害連携、交流**

- ・地域との連携はとても大切であると考えます。特に伝統芸能や、現在の各校の特色ある活動を学年で取り組むなどできないだろうか。
- ・地域社会と関わる機会を設ける。
- ・地域のイベントへの積極的な参加。3
- ・退職教師、教員の協力要請
- ・あらゆる分野での人材マップを作って、地域の人が常に学校に足を向けられる環境や雰囲気作り。
- ・地域の人々が出入りできる機会を多く設ければ良いのでは
- ・地域住民の協力を得られる体制作りとし、地域の歴史や各地での特色を継承していく
- ・地域社会に開かれた環境（幼児、卒業生、高齢者など多様な年代が気軽に出入り）
- ・地域の高齢者とも触れあえる場を作って欲しい。
- ・小学校に関わる人間だけではない、花泉における高年齢者とも向き合える様な学校で

- あってほしい。
- ・グラウンドゴルフ、ゲートボール、合唱等々 高齢者グループとの交流
  - ・ 独り暮らし、高齢者世帯に学校行事に招待
  - ・ 老人ホームとの交流行事。
  - ・ 各地域の活動を参考に、できる所は残していきたい。 文化活動。
  - ・ 地域の文化を大切にする
  - ・ 地域住民が気軽に学校サポートの出来る環境
  - ・ 現地域との密着
  - ・ 花泉全体との新しい体制
  - ・ 花泉地域全体で 見守り
  - ・ 地域との連携した（地域の人々の力を借りた）学校運営をする。（教育振興運動の推進）
  - ・ これまでと同じ地域の活動を維持する。
  - ・ 地域交流スペースの設置（土日も開放する環境を作り、児童や地域住民が気軽に活用できる場）
  - ・ 日ごろから地域住民に ひらかれた学校環境をつくることで、災害時などにも連携しやすい。
  - ・ 防災教育の推進
  - ・ 既存のものを大切にしながらも 整備、再編成することも必要だと思います。意見を交流しながら納得できる形になればよいと思います。
  - ・ 地域を挙げた スポーツ・文化活動の推奨、応援
  - ・ 地域の活動と連動した環境整備（除草作業など）
  - ・ P T A や地域の方が 集える場、部屋
  - ・ 地域との 一体感
  - ・ 地域の力を活かす（高齢者やボランティア）
  - ・ 地域文化の継承 2
  - ・ 現在、各地区（市民センターを含む）で 小学校と連携して行っている活動は今までも活用すること。
  - ・ 伝統芸能の融合と地域性を活かす
  - ・ 伝承芸能の継承
  - ・ 地元の方々との交流
  - ・ P T A、地域団体含めた 交流の場。 相互連携。
  - ・ 地域の方々が 気軽に学校に入れる環境と取組み（現在は、入りづらく感じる）互いに距離感有（意識の醸成が必要）

分類：学校立地 **キーワード：図書館隣接、施設集約**

- ・ 図書館と隣接することにより、地域住民との交流も図られるし 見守りにも役立つと思います。
- ・ 建設場所にもよるが、スクールバスとの関係もあって、スポ少の活動に支障が出ると考えられる。

## 問 1 ⑤通学への配慮（安全対策など）

**分類：駐車場** キーワード：駐車スペース、校内安全対策

- ・保護者の車で送迎時を考えると、駐車場スペースの確保（一方通行で示す） 2
- ・保護者の送迎時における校内の安全対策（車両の事故等）
- ・職員、訪問者車両の安全と諸行事等も念頭に必要面積を 2
- ・バス増便や、送迎の車にも考慮した場所選定や広さの確保。

**分類：通学路** キーワード：通学路の整備、安全対策

- ・道路を歩行する際の、安全対策。
- ・スクールゾーン、時間帯通行止めエリアをもうけてもいいのでは。
- ・通学については、花泉町内全ての地域が公平な事が望ましい。（バス等について）通学路の整備は必要である。
- ・登下校時の通学路安全体策組織を全町で立ち上げる。
- ・混雑地域の歩・車道の明確化
- ・交通ルールを学び安心な通学
- ・歩道の整備、障害物、雑草等の除去
- ・安全な通学路の整備、管理 4
- ・歩道、車道、自転車道を完全分離し、十分な道幅の確保
- ・植栽による道路の分離帯の設置
- ・スクールバス通学者以外の通学路を安全な通学路に充分配慮する
- ・通学路の明確化と周知→地域住民や組織とのネットワーク形成
- ・小学生なので、登下校時の安全を確保することが一番の問題と思うので、新設する学校周辺の道路の環境整備が必要。（歩道の広さや横断歩道の位置の配慮。）
- ・通学路の歩道完備

**分類：スクールバス** キーワード：専用バス、市民バス、安全な運行、家族送迎配慮、乗車時間配慮、体力向上策

- ・スクールバスの運行 6
- ・スクールバスの充実
- ・小学生、中学生がともにバス等で通学できるような体制 4
- ・バス路網の整備を図る（路線バス、市民バス、スクールバスの利用者区分をなくす）
- ・フリー乗車
- ・誰もが使用できるバス（地域住民全て）
- ・体力、学校の時間からみても、中学校と同じ様なバスの有り方ではだめだと思う。
- ・スクールバス生徒への体力向上対策 自宅→バス→歩→学校 等 5
- ・スクールバスを使う事になるとは思います、遠い、近いだけでなく通学ルートを考えての取組みが必要だと思います。
- ・スクールバス停付近の見回り、特に登着時。
- ・乗車時間を配慮したスクールバスの運行
- ・スクールバスの駐車場、交通整理。
- ・家族の送迎も考慮したスクールバス停留所の整備
- ・現在登下校時には、多くの保護者が各自送迎している様子が伺えるが、スクールバスの運用方法の検討が必要。

**分類：安全対策** キーワード：低学年対策、見守り、通学路安全対策、災害対応

- ・低学年の子どもへの対応。
- ・特に低学年に対する通学路の安全対策と見守りが大切
- ・スクールバス停留所に見守り員を置く

- ・地域の安全見守り 7
- ・通学方法と通学路等の安全対策
- ・通学路等で児童の家から乗車場までの安全対策
- ・通学路の安全マップの作成と地域人材活用
- ・各種災害への具体的な避難体制の確立と取り組み、見直し（例、火災、地震、水害）
- ・集団登校だと安心はあります。
- ・安全マップの作成
- ・スクールガード事業の充実 3
- ・交通安全の徹底（安全確保）
- ・安全面での考慮

分類：その他 **キーワード：住民意見への配慮、徒歩通学、電車通学、家計負担軽減**

- ・地域住民の意見を考慮した計画。
- ・できる限りの徒歩通学
- ・徒歩通学推奨区間の設定
- ・場合によっては電車通学の可能性も検討。
- ・家庭の負担を軽減する方法を考慮

## 問2 その他

分類：危機対応 **キーワード：災害対策、危機管理、地盤調査**

- ・災害時等に配慮した施設
- ・防災教育の視点から、防災物品を常備しておく「防災室」があってもいいのかと。
- ・常に危機管理に配慮した対応計画が必要。
- ・建設用地は町中心部で中学校に近い方が良いと思いますが、水害対策の盛土は必要と考えます。（国道バイパスが一度水害にあっている。）
- ・建設地の十分な地下調査（亜炭鉱の調査）

分類：学校整備 **キーワード：駐車場充実、グラウンド（芝、排水、土壌）、遊具、動物飼育、プール（低学年用、屋内）、学校開放（体育館、校庭、クラブハウス）**

- ・500台駐車できる駐車場の設置。
- ・駐車スペースが充分ある 2
- ・行事等でも対応出来る駐車場（広い駐車場）2
- ・多目的に使用できるようにグラウンドを広く確保していただきたい。2
- ・芝のグラウンド活用方法は、Jリーグを誘致し、サッカースクールを立ち上げる。
- ・水はけのよいグラウンド 6
- ・転倒に配慮した土壌の校庭
- ・日当たりのよいグラウンド（100mやトラックのポイント）
- ・アスレチック施設などを併設し、地域の子供達がいつでも（土、日、祝日も）遊べるようにする。 2
- ・安全な遊具。
- ・動物を飼える場所
- ・プールは大プールと小プールを別に
- ・屋内タイプのプールの活用方法は、スイミングスクールを開設し、近隣市町の子供たちの活動の場とする。
- ・天候に左右されない、予定どおりカリキュラムの消化出来る学校施設。特に短い夏期。
- ・校庭開放用クラブハウス

- ・ 学校開放に適した体育館への導線
- ・ 棟と棟をつなぐ部屋で雨の日も濡れずに外で遊べるスペース
- ・ 学校開放も考慮した施設
- ・ 体育設備は、最新で長期にわたり利用できる設備。また、地域への貸し出し含め交流する場としての利活用も検討。

**分類：地域活性化**      **キーワード：跡地使用**

- ・ 小学校が統合されて、各地区の元気がなくなることだけは避けたい
- ・ 廃校になる体育館の床をはがし、冬季スポーツ施設として整備する
- ・ 学校跡地の活用（スポーツ施設等としての整備）
- ・ 現行の学校施設を今後の利用活用は
- ・ 現在ある学校を閉校後に考えるのではなく今から利活用を考えることが必要。

**分類：その他**      **キーワード：長い目でみた教育環境、子供目線、教職員の質、先行事例参照  
今後の保護者の意見、建設場所の早期の合意形成**

- ・ 百年後までも続けられる教育環境（ソフト面、ハード面）を十分に考えて進めていただきたい。
- ・ 教職員の質や意識を高めてほしい（児童同士ではなく、教職員が原因となるいじめも全国では起きているため）。
- ・ 子どもたちにもアンケートをとってみてもいいのでは。大人目線だとつまらない学校になると思います。
- ・ 先行事例を基に良いものと花泉地域に合うことを検討すべき。  
学校の建設場所により、上の検討項目が変わってくる。早期の場所の決定が必要である。地域住民の意識と合意形成の為。ハード面（学校）も必要。もっと必要なのは、ソフト面（人等）をもっと検討していきたい。
- ・ 開校時には、新しい学校を作り上げようとする意欲のある先生方の配置を望む。
- ・ 委員はもとより、新設される小学校に今後入学や在籍することになるであろう保護者からも意見を聞くことも必要ではないでしょうか。